

2017 京都選抜男子 NO.7 H.24.10.17(水)

Photo : 10/13 北嵯峨高校
10/14 福井工大高

北嵯峨高校・福井工大高のみな
さん、ありがとうございました。

多くを学んだ福井遠征。

10月14日(日), 初の他府県遠征を行いました。場所は福井工大高。そこで高校生・福井選抜と対戦しました。中学生選抜とも初の対戦。この1日で、多くのことを学びました。

ゲーム内容

福井選抜は大型チームで、180cm以上の選手も多く、170cm台でも180cmに近い選手たちの集まりでした。かなり高さに苦しめられました。また、高校生の180cmの選手の2枚ブロックに挑戦できない場面も多く見られました。そんな中で、京都選抜もいろいろと対応を考えていきました。

★レシーブを2枚から3枚に!!

この修正は効果があり、かなりゲームらしい感じになってきました。

★サーブでライトバックをねらい、くずしていく

しかし、サーブをただライトバックに入れておくだけになり、効果は出ませんでした。もっともっとサーブの質を高めなければいけません。

★ブロックは、ストレートを締める

ブロックを跳ぶ位置がアンテナによりすぎ、クロスを打たれて抜かれてしまうことが多々ありました。

★ブロックのワンタッチからの切り返しをしっかりとる

これは練習の中で、徹底的にやるしかありません。

★相手のゆさぶりに負けない心を!!

相手は13点、14点の競った展開の時に、京都をゆさぶるプレーをしてきました。例えば、1本目のサーブを前に落とし、次のサーブは前に守りを変えた選手の頭上をねらってきてくずす、というようなプレーです。このゆさぶりに踏ん張れないというのは、心もゆさぶられていることになります。当然ねられる弱点を減らさなければなりません、相手のゆさぶりに負けない心も必要です。

行動面

★どんなところでも京都選抜の自覚がほしい!!!!

移動のバスの中で、度を超してさわいでいる選手がいました。練習会場や試合会場だけでなく、どんな時でもどんな場所でも、『京都選抜』の自覚がほしいものです。注意してくれた選手もいましたが、人ごとのように見ていた人もいます。京都選抜としてどうあるべきか、考えてください。

全体を通して

★多くの課題が明らかになった、有意義な福井遠征

京都の力を出せない、勝てない、ということにしっかり気づいたし、さまざまな課題も明らかになりました。京都で高校生を相手に戦っていると見えないことが、今回の遠征で見えたのではないのでしょうか。そういう意味でも、非常に有意義な遠征となりました。

練習試合 結果

9/29 VS花園高校 ●4-25 ●19-25 ●7-25 ●9-25 ●20-25 ●21-25 ●18-25

9/30 VS東山高校 ●15-25 ●19-25 ●10-25

10/13 VS北嵯峨高校 ○25-22 ●10-25

10/14 VS福井選抜 ●12-25 ●10-25 ●18-25 ●16-25 ●12-25

VS福井工大高 ●14-25 ●19-25 ●13-25 ●16-25 ●14-25

高校生から初めてセットをとる!!

10月13日(土)は北嵯峨高校で練習・練習試合を行いました。

高校生とのゲームの中で、チーム結成以来初めてセットをとることができました。自分たちのバレーができたときには、高校生相手でも勝利をおさめることができるとわかったと思います。これを自信に、さらに努力

を重ねてほしい
と思います。

福井工大に
はってあつ
た掲示物

最も避けなければならないのは
負けることを恐れて、挑戦する姿勢を失うことだ

思い切って挑むこと。
立ち向かうこと。
負ける可能性を受け入れること
勇気とはそういうことだ。

信念の力

もしあなたが負けると考えるなら、あなたは負ける。
もしあなたが駄目だと考えるなら、あなたは駄目になる。
もしあなたが勝ちたいと思う心の片隅で無理だと考えるなら、
あなたは絶対に勝てない。
もしあなたが失敗すると考えるなら、あなたは失敗する。

世の中を見てみよ。
成功を願いつけた人が成功しているではないか。
全て『人の心』が決めるのだ。
もしあなたが勝てると考えるなら、あなたは勝つ。
『向上したい』『自信を持ちたい』とあなたが願うのなら
あなたはその通りの人になる。

さあ、再出発だ。
強い人が勝てるとは限らない。又、素晴らしい人が勝つとも限らない。
『私はできる』
そう考える人が結局は勝つのだ。

